

1. 件名：原子力エネルギー協議会との面談
2. 日時：令和5年12月1日（金）11：30～12：00
3. 場所：原子力規制庁8階会議室
4. 出席者：
  - 原子力規制庁
  - 原子力規制部
  - 原子力規制企画課 黒川課長、片野補佐、斎藤課長補佐、田代係長
  
  - 原子力エネルギー協議会 理事 他1名
  - 関西電力株式会社 原子力事業本部副事業本部長
5. 要旨：
  - 原子力エネルギー協議会（以下、「ATENA」という。）等から資料のとおり、原子力学会において検討されている革新型軽水炉に係る規制や制度の考え方について説明があった。また、次回の主要原子力施設設置者の原子力部門の責任者との意見交換会（以下、「CNO 意見交換会」という）で、革新型軽水炉に関する議題と第17回 CNO 意見交換会に引き続き「SA 設備／特重施設整備後のプラント運用実績を踏まえた効果的改善」を議題としたい旨の発言があった。
  - 原子力規制庁からは、CNO 意見交換会で革新型軽水炉を議題とするのであれば、事業者として革新型軽水炉の導入を検討するにあたって、建設に当たっての具体的な検討がどこまで進んでいるかを示した上で、どんな課題があり、何を原子力規制庁と議論する必要があると考えているのか整理して説明するよう伝えた。
6. 配布資料：
  - 資料 第5回 次期軽水炉の技術要件検討 WG5-3. 次期軽水炉の重要コンセプトに関する議論「規制や制度の考え方」等の抜粋資料

以上